

## 184号の 主な記事

- 第3回定例会概要、議員提出議案 ..... 1ページ
- 区長提出議案、請願・陳情の処理状況 ..... 2ページ
- 代表質問、一般質問 ..... 3～5ページ
- 決算特別委員会の概要 ..... 6～8ページ

## 平成19年第3回定例会

# 平成18年度各会計歳入歳出決算を認定

### 補正予算を含む8議案と 後期高齢者医療制度の円滑な移行への支援 を求める意見書を含む意見書3件を可決

平成19年第3回定例会は9月19日から10月23日までの35日間の会期で開かれました。

この定例会には区長から、総額139億9700万円余を計上した一般会計及び特別会計補正予算を含む8件の議案、同意1件、報告3件が提出されました。補正予算の内容は、江戸川コミュニティ会館の開設経費や特別区債の繰上償還などです。

平成18年度各会計歳入歳出決算については、決算特別委員会を設置し、区政の課題など詳細にわたり審査を行いました。

決算の認定を含め、これらの議案はいずれも原案のとおり可決されました。

また、議員からは「後期高齢者医療制度の円滑な移行への支援を求める意見書」を含む4件の議案が提出され、継続審査となった1件を除き、それぞれ可決されました。意見書は関係機関に送付しました。

この定例会の会議録は、11月下旬にできあがります。詳細は、区議会ホームページ、お近くの図書館、コミュニティ図書館、または区議会事務局をご覧ください。



↑善養寺 影向菊花大会(11月22日まで開催中)

### 議員から出された議案で 結果が出されたもの(全会一致) 意見書は各関係機関に送りました

- **後期高齢者医療制度の円滑な移行への支援を求める意見書**  
〔厚生労働大臣 あて〕  
保健事業実施等に伴う保険料への影響の軽減、新しい医療制度のシステム構築に伴う区市町村の財源負担の軽減、75歳以上の被保険者に対する制度の十分な周知など、国に更なる対応を求める。
- **「地域安全・安心まちづくり推進法」(仮称)の早期制定等を求める意見書**  
〔内閣総理大臣、総務大臣、文部科学大臣、国土交通大臣、国家公安委員会委員長 あて〕  
安全で安心して暮らせる地域社会を築くため、犯罪に強いまちづくりへの自発的な取り組みなどに対し、国や自治体が支援することを盛り込んだ法律の早期制定等を国に求める。
- **中小企業の事業承継円滑化のための税制改正を求める意見書**  
〔衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、経済産業大臣 あて〕  
中小企業の雇用や高度な技術を守り、事業承継を円滑にすすめていくため、非上場小規模企業の経営者に係る相続税の減免措置など総合的な対策を国に求める。

### ◎第3回定例会日程◎

- 9月19日 ..... 議案上程、委員会付託
- 21日 ..... 代表質問
- 25日 ..... 一般質問
- 27・28日 ..... 決算審査
- 10月1・2・4・5・9・11日 ..... 議案審査
- 12日 ..... 請願・陳情等の審査
- 15日 ..... 委員会報告及び表決
- 23日 ..... 委員会報告及び表決



.....区長から出された議案.....

- 予算
  - 平成19年度江戸川区一般会計補正予算(第2号) ※1  
江戸川コミュニティ会館の開設経費や特別区債の繰上償還など114億6929万8千円を追加し、総額を2084億727万8千円とする。
  - 平成19年度江戸川区国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)  
6億8836万9千円を追加し、総額を680億9186万5千円とする。
  - 平成19年度江戸川区老人保健医療特別会計補正予算(第1号)  
6億1204万9千円を追加し、総額を337億3090万6千円とする。
  - 平成19年度江戸川区介護保険事業特別会計補正予算(第1号)  
12億2826万8千円を追加し、総額を247億4478万9千円とする。
- 条例(一部改正)
  - 江戸川区立コミュニティ会館条例 ※2  
江戸川コミュニティ会館の設置に伴う使用料等を定める。
  - 江戸川区保育所の保育の実施に関する条例  
19年度から所得税率が引き下げられたため、前年の所得税課税額を算定基準とする所得税課税世帯について、平成20年度以後の保育料を19年度と同等に保つため、所要の改正をする。
  - 江戸川区廃棄物の処理及び再利用に関する条例 ※3  
廃棄物処理に適正な負担を求めるため、処理手数料を見直し、金額を改定する。
- 契約
  - 建物の買入れ  
随意契約により、篠崎駅西口公益施設株式会社から仮称江戸川区篠崎区民施設の内装仕上げ、備え付け備品及び設備について、契約金額3億1999万8千円で買入れる。
- 同意
  - 江戸川区教育委員会委員の任命同意  
平成19年9月27日から、江戸川区教育委員会委員に早川大府氏を任命することの同意を得る。
- 報告
  - 平成18年度江戸川区各会計歳入歳出決算の認定 ※3  
決算審査の概要、各会派の意見、決算のあらまし等は、6~8ページに掲載しています。
  - 平成18年度江戸川区一般会計の継続費の精算  
船堀駅自転車駐車場建設に伴う道路新設改良費を精算する。
  - 放棄した私債権の報告  
債権件数174件、総額5億5577万7634円の債権を放棄する。

※印は賛否の分かれた議案

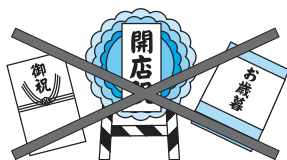
- ※1 賛成35(自由民主党、公明党、民主・ネット、無所属クラブ)  
反対 7(日本共産党、一人の会、プジョー外江戸川)
- ※2 賛成31(自由民主党、公明党、民主・ネットの一部)  
反対11(民主・ネットの一部、日本共産党、一人の会、  
無所属クラブ、プジョー外江戸川)
- ※3 賛成38(自由民主党、公明党、民主・ネット、一人の会、  
無所属クラブ、プジョー外江戸川)  
反対 5(日本共産党)

※印以外の議案は全会一致で可決  
会派の略称 民主・ネット=民主党・生活者ネットワーク

.....議員の寄付行為の禁止を徹底します.....

公職選挙法では、金額の多い少ないにかかわらず、議員の選挙区内での寄付を禁止しています。例えば、祭りや盆踊りなどの地域行事や、学校行事に際しての寄付、出産・新築などの祝金、病氣見舞品も禁止されています。また、区民が議員に対して、寄付を求めることもできません。

区民の皆様のご理解とご協力をよろしく  
お願いいたします。



.....皆さんから出された請願・陳情.....

- | ◎今回の定例会で新たに委員会に付託されたもの   | 付託委員会名    |
|--|-----------|
| 12号 悪質商法を助長するクレジットの被害を防止するため、割賦販売法の抜本的改正に関する陳情                     | 生活振興環境委員会 |
| 13号 北小岩地域「スーパー堤防」建設案の撤回を求める陳情                                      | 建設委員会     |
| 14号 江戸川養護学校寄宿舎の廃舎反対に関する請願  | 文教委員会     |
| 15号 スーパー堤防篠崎公園地区および都市計画道路288号線の計画見直しを求める陳情                         | 建設委員会     |
| 16号 「東京23区廃プラ焼却中止または無期延期と、区民の健康および経済負担を最優先にした区民が策定するごみ処理計画」についての陳情 | 生活振興環境委員会 |
| 17号 割賦販売法の抜本的改正を求める意見書を政府等に提出することを求める陳情                            | 生活振興環境委員会 |
| 18号 スーパー堤防に伴う区画整理事業に関する陳情  | 建設委員会     |
| 19号 原爆症認定制度の抜本改善を求める意見書採択に関する陳情                                    | 福祉健康委員会   |
| 20号 北小岩地区スーパー堤防まちづくり構想に関する陳情                                       | 建設委員会     |
| 21号 北小岩地区「スーパー堤防」建設案の廃案・撤回に関する陳情                                   | 建設委員会     |
| 22号 都立墨東病院の地方独立行政法人化に反対し、都立直営で存続させる陳情                              | 福祉健康委員会   |
| 23号 2008年4月実施の高齢者医療制度の中止・撤回を求める陳情                                  | 福祉健康委員会   |
| 24号 障害者自立支援法の抜本的見直しに関する陳情  | 福祉健康委員会   |

◎今回の定例会で取り下げられたもの

- 8号 仮称「江戸川区北小岩三丁目計画」13階建分譲マンション新築工事に関する陳情

区議会ホームページ

URL <http://www.gikai.city.edogawa.tokyo.jp/>

区議会ホームページは、ユニバーサルデザインのコンセプトに基づき作成しています。音声読みあげソフトへの対応や背景色、文字色、文字の大きさに配慮した構成になっています。ご活用ください。

また、19年第2回定例会から本会議の映像も公開しています。ご自宅などのパソコンから区議会本会議をご覧ください。

\*本会議の当日は、ライブ中継も行っています。

- 主な内容 本会議の録画映像、議員名簿、本会議の会議録、議案や請願・陳情の審査状況、会議予定、区議会だよりバックナンバー、議会用語の解説ほか



## 区政への質問

9月21日に代表質問、25日に一般質問が行われ、区政運営、医療制度改革、環境問題、防災対策、子育て支援、教育問題などのほか、区政全般の課題について活発な論議が展開されました。ここでは、質問と答弁の要旨を掲載しています。

### 代表質問



#### 多田区政の実績と今必要 と思う取り組みを問う

自由民主党  
須賀 清次

**問** 平成11年度末には区債残高847億円と危機的な財政状態に追い込まれた。区民・区・議会の総力による取り組みの結果、18年度末には区債残高351億円、基金残高891億円と改善されたが、今後の財政を見通すと国や都から交付される依存財源の比率が高いため、今の財政状況が安定的に続くとは考えにくい。規律ある財政運営やさらなる行財政改革に取り組む必要がある。新たな取り組みは。

**答** 財政指標の数値はよくなったが、依然として自主財源の比率が低いことが課題である。今後も、一層の行財政改革を推進し、効率的な区政運営に努め、安定的な財政構造を実現することが必要である。

**問** 防災対策について

(1)防災無線塔や、荒川堤防・小中学校に水位標示を掲げた思いと被害を最小限に食い止めるための取り組みは。何本もの川に恵まれた区でもあることから、海上輸送も視野に入れた対策を。

(2)災害時要支援者の居住調査を早急に実施し、町会自治会等に呼びかけ、災害時の救援方法の確立を。また、小中学校の体育館などから二次避難所への移送方法の検討を。

(3)自ら避難することも含め、避難途中や避難場所等で視覚障害者とわかる目印を。

(4)大地震時の仮設住宅の設置場所と規模は。

(5)危機管理、防災対策の体制機能は。

**答** (1)様々な都市基盤整備を図り、防災に努めてきた。水位標示は、水害の危険性を自覚してもらえるよう、駅前・庁舎等にも設置していく。船による救援が期待できる防災船着場を多数有している。さらに3ヶ所整備する。

(2)地域力に負うところが大きい。小岩地区などで災害時の社会資源を把握する防災マップの作成を進めているが、全区で実施していく。

(3)関係者の話しを伺いながら積極的に対応していく。

(4)河川敷の有効な活用をしていく。

(5)日頃の訓練の積み重ねが非常に重要である。今後も区民と共に推進していく。

**問** 子どもたちを手間ひまかけて育てることを忘れた家庭が増え、「育て方の格差」が広がっている。母親の躰のあり方は。

**答** 家庭教育の自主性を尊重しながら、学校、地域が一体となって必要な支援をしていく。

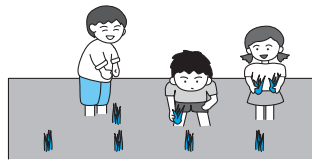
**問** 携帯電話という便利な道具が学校教育の中に入り込んでいることについて、生活指導や学習指導の面での取り組みは。

**答** 児童・生徒や保護者への啓発活動や子どもたちを携帯電話の危険性から守るため、学校と家庭が連携して対応していく。

**問** 日本一の教育の充実、子育ての充実を目指す江戸川区から、全国的な規模で「笑顔いっぱい子育ての駅・シンポジウム」の開催を。

**答** 子どもたちにとって、様々な世代の方々と多くの関係を持つことが必要であり、このことは健全育成を推進する。趣旨に賛同する。

**問** 子どもたちにコンクリートではなく、土から学ぶことの大切さを知ってもらうためにも農業体験のシステムづくりを。



農業体験

**答** 都市農業の特徴を生かしながら、学校農園等で活動の実績を積み重ねていきたい。



#### 日本一 本が好き子ども たちのいる江戸川区を!

公明党  
春山 なかじ

**問** 地球温暖化対策とサーマルリサイクル

(1)明年策定に向けたエコタウンえどがわ推進計画に取り組む決意は。また、区民のエコライフへの誘導策などへも積極的な取り組みを。

(2)環境立区を目指す本区として、環境に対する意識改革を促すためにも、次の時代を担う小中学生を対象とした環境サミットの開催を。

(3)サーマルリサイクルの円滑な実施は区民の協力と実践が重要である。区民の理解を得るために丁寧できめ細やかな周知徹底を。また、江戸川清掃工場の実証確認の結果と評価は。



エコライフ

**答** (1)独自性のある実効的な計画を策定していく。区の姿勢が大切だが民間にもお願いしなければならない。強力な手立てを考えたい。

(2)学校等において様々な活動を行なっている。地域でも活動を側面から支援している。こうした活動の中で、サミット開催も考えられる。

(3)区民の理解度は高いと考えている。23区の模範となるよう適切に実施していく。実証確認の結果はいずれも基準を下回っており安全性に問題はない。今後も結果を公表していく。

**問** 読書活動と学校図書館の充実

(1)読書活動充実のさらなる推進を。

(2)蔵書冊数と図書整備は質・量ともに充実を。

(3)学校図書館サポーターなどの配置の充実を。  
(4)区立図書館と学校との連携強化を。

**答** (1)小学校に比べると中学校での活動が少ないので、一層の推進を図っていく。

(2)今後も適正な図書の整備をしていく。

(3)保護者、地域とともに充実させていく。

(4)図書館と学校との一層の連携を図っていく。

**問** 特別支援教育についての取り組み状況と今後の進め方は。また学校教育において障害のある児童・生徒と健全な児童・生徒との共生社会をどのようにつくっていくのか所見を。

**答** 検討会の設置など円滑な施行に向けての準備をしてきた。個別支援計画の作成など一人ひとりに応じた支援をしている。理念の実現は長い時間を要すると考えるが、今後、関係者の連絡会議の設置など共生社会の実現の一端を担っていきたい。

**問** 学校に対する様々な意見への対応について、学校・教師・地域・家庭がより良い関係になるよう独自の解決策へのシステムづくりを。

**答** 不安を抱えている保護者を孤立させないよう学校、地域が連携して取り組んでいく。

**問** 後期高齢者医療制度について、区民の理解を得るため、さらに丁寧な周知徹底を。

**答** 11月上旬には条例制定の準備に取り組む。検討の経過は議会に逐一報告していく。

**問** (1)篠崎公園の整備計画と先行買収した土地の活用は。(2)補助288・286号線の整備計画は。(3)西篠崎の区画整理事業の進捗状況は。

**答** (1)早期完成に向け、都に働きかけていく。先行買収用地は広場など活用を図っていく。(2)公園を分断させないよう道路を土手沿いに変更し、併せて交差点部分も変更する。

(3)21年度中を目途に登録簿の整理等を進めていく。

**問** 篠崎地区の小岩警察署仮庁舎移転後の跡地を活用した保育園の開園見通しは。

**答** 平成21年4月に社会福祉法人えどがわによる保育園の開園を予定している。



#### 非正規職員処遇改善、ごみ 問題、学校への司書配置

民主党・生活者ネットワーク  
稲宮 須美

**問** 非常勤職員、臨時職員が配置された経過は多様化する区民の生活状況から施設の開館時間や保育時間など膨らむニーズに対応するためであり、保育園・図書館・すすくスクールなど特に教育・保育の場がその対象になっている。今や非常勤職員もその仕事内容は正規職員と同じであり、同様の責任が求められる。同一価値労働における正規と非正規雇用の均等待遇は、早急に取り組むべき課題。経験を積み、なお働く意志がある人に対しては、更新や雇用年限をなくし、さらに昇格・昇給制度についてもぜひ検討すべきと考えるが、いかがか。臨時職員は地方公務員法に基づき、緊急の場合に6ヶ月を超えない期間で採用され、更新は1回限りとなって

いる。が、実際には1ヶ月の中断期間をもって、連続的に何年も働いている方々があり、恒常的に業務に携わっている状況がある。行政需要があり、本人の希望があり、能力や適性が認められる場合には、非常勤職員に移行できる道筋を整えていってはどうか。

**答** 中核的な業務を担う正規職員、短時間勤務で専門知識を活かす非常勤職員、補助的な業務を行なう臨時職員とそれぞれの職種の峻別をしっかりと行なっている。そのため同じ仕事をしながら処遇が違うということはない。なお、非常勤や臨時は、その収入を生活の原資としていない。

**問** 来年度からサーマルリサイクルを実施する前提として、23区はペットボトルのリサイクルの徹底、可能な限り容器包装プラスチックのリサイクルに取り組むことを申し合わせた。しかし、資源化の方針を打ち出しているのは13区であり、残り10区の大半は、ペットやトレイ以外はほぼ焼却の方向である。焼却費用の増大、CO<sub>2</sub>の発生、安全性に鑑み、焼却量を極小化することも大切。江戸川区の焼却灰も処理される中央防波堤にできた最新鋭の溶融炉や、豊島清掃工場では事故が相次ぎ、稼働全面停止となっている。想定外のことが起きている現状をどうとらえているか。また、本来優先すべき発生抑制と再使用のしくみづくりに着手すべきと考えるが、見解を。

**答** 資源化を行なわないサーマルリサイクルは意味がない。条件が整い次第、全区が資源化を実施することが最良である。事故は職員が報告を怠ったことが問題であり処分した。原因究明はまだだが、逐一判明次第公表する。

**問** 学校図書館の活用は、担任などを兼務する司書教諭やボランティアに頼っているのは難しい。図書館に本が並んでいるだけでは有効活用には至らず、本と子どもに専門の人がいてこそ活性化し、子どもの豊かな育ちにもつながる。図書活動だけでなく、いじめなどに悩む子どもの身近な相談に対応でき、つらい思いを抱えた子どもがほっとできる居場所にもなる。授業の資料を用意するなど多忙を極める先生方の強い味方にもなり、若い先生が多い本区ではその連携が大いに期待される。まずは小学校への司書配置の検討を。



学校図書館

**答** 司書教諭を推進役とし、保護者や地域の協力を得て読書活動を実施している。そのため、特別に専門司書の設置は考えていない。



**公契約、後期高齢医療凍結、墨東病院直営を**

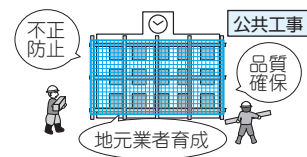
日本共産党  
セバタ 勇

**問** 公共工事における労働条件の向上・改善

を図るため、末端の工事現場までの労働者の賃金を設計労務単価に近づけるなどの行政指導を。また、建設業退職金共済制度の現場での確実な実行を図るための指導を。

**答** 下請契約の労務単価を拘束するものではない。賃金等で苦情があれば、元請業者を指導している。建退共制度のPRに努めていく。

**問** 地元業者育成と繰り返される不正防止を実現させる根本的な対策として、関係法令の遵守と市場の健全化を目指し、公共事業の品質確保を目的とした公契約条例の制定を。



公契約条例

**答** 談合がなく、区内業者にやってもらうのが一番だが、それを両立するには乗り越えなくてはいけないことがある。区民も納得する透明性の高い方式を取り入れていく。

**問** 後期高齢者医療制度について

(1)今のままでは大幅な保険料の値上げが予想され、保険料の年金天引きや被扶養者などが現行医療制度から新制度へ移行することが周知されていないことから大きな混乱や誤解を生むことになりかねない。来年4月からの実施を凍結し、抜本的な制度の見直しを。

(2)保険料を支払うことが困難な高齢者については滞納の事情を確認し、支払計画を立てるなどして、命にも直結しかねない、病院窓口で医療費を全額支払うことになる資格証明書の発行はすべきではないが所見を。

(3)特定健診、後期高齢者健診については、国や東京都などの財政支援を実現するとともに、区民の健康を守るためにもこれまでの健診項目を減らさず、無料での実施を。

**答** (1)保険料が決まってしまったわけではなく、得られる情報によって、保険料の想定は変わってくる。医療制度は、来年4月から始まることになっているので、凍結はできない。(2)法律により決まっていることで、勝手に発行をやめることはできない。

(3)後期高齢者の健診は、62区市町村で健診のレベルが違うため検討中である。国や都に対しては財政支援を求めていく。

**問** 墨東病院の地方独立行政法人化について、不採算部門の切り捨てと撤退につながる効率・採算優先の方針をとることなく、都立直営病院として存続を図るよう東京都に要請を。

**答** 診察内容に問題が出てくると話は別だが、病院経営の効率化には反対しない。東部地区の広域基幹病院なので、関心は持っている。

**問** 住宅の耐震改修助成の拡充について

(1)地震のときに命を守るためには、まず家屋の倒壊を防ぐことが重要である。木造住宅密集地域などでは、区が実施している高齢者・障害者向けの耐震補強工事費への助成制度を旧耐震基準すべての低所得者の住宅に適用を。(2)耐震工事手法の発展によって多面的な耐震工事が可能となった。改修のテンポを速めるために工事費の助成を1件あたり、100万

円程度に拡充し、より利用しやすい制度に。

**答** (1)基本的には、スーパー堤防の整備に伴う区画整理事業などのまちづくりによって耐震化を図ることが望ましい。低所得者については、その状況を勘案しながら、適用を図る。(2)拡充する考えはない。

**一般質問**



**笑顔の子育て支援・地域力・橋で心のつながりを**

自由民主党  
早川 和江

**問** 今後の人口動態の推移とそれを踏まえた少子化対策・子育て支援の基本的な考え方は。

**答** 国の出生率を上回っている状況を維持していきたい。年少人口は増加していく見込み。

**問** 養育家庭の基盤整備のため、子ども家庭支援センターと児童相談所の連携を深め、養育家庭の開拓を。また、子育て経験豊富な保育ママに働きかけるなど、地域で子ども達が健やかに育っていくよう積極的な取り組みを。

**答** 平成14年の法改正で要件が緩和された。養育家庭の組織と連携した啓発活動等、さまざまな努力をしていく。

**問** 認定子ども園は、幼稚園・保育園の垣根を越え柔軟なカリキュラムを組むことが可能となる。待機児解消にもつながるなどの多くのメリットがあるが、本区の状況は。

**答** 設置基準の面やお金の流れなどの課題がある。子どもの多い本区ではどうか。

**問** ワーク・ライフ・バランスの観点から、次世代育成支援行動計画のこれまでの取り組みの成果と課題は。

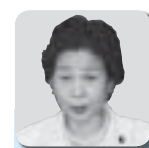


ワーク・ライフ・バランス

**答** 推進のためには、企業が体制を整えることが必要である。労働政策を中心にそういった社会システムになることを願う。

**問** (1)小岩大橋の歩道幅員拡幅の見通しは。(2)老朽化が進む松本橋や鹿本橋の架け替えを。

**答** (1)区の要望を第五建設事務所が検討している。実施方法は今年度中に合意の予定。(2)当面は、耐震工事を年度内に実施する。



**更なる子育て支援の充実とスポーツの振興を!**

公明党  
うざわ 悦子

**問** 子ども家庭支援センターの機能強化により多角的な相談に応じられる内容の拡充を。

**答** 必要であれば拡充する。日常的な相談等は地域の中で解決することも必要である。

**問** 区内における病後児保育箇所の増加を。

**答** 状況を勘案し必要があれば確保していく。

問 旧江戸川河川敷に整備される水辺のスポーツガーデンの概要、オープン時期は。

答 関係団体の意見を踏まえ、少年野球場、テニスコート、フットサルコートなどを整備する。21年度の完成予定である。

問 ボートとラグビー競技が本区での開催となる東京国体に対する抱負と決意は。ラグビー競技に使用する臨海球技場の芝生化を。



芝生化

答 万全の体制で開催したい。人工芝か天然芝か研究して整備を行っていく。

問 東葛西7丁目の東京都教職員住宅跡地に公園の設置を。

答 土地利用については、検討中の事項があり、直ちに公園に整備する状況ではない。



### 自助・共助で地域を守る ソフト面防災対策の充実を

民主党・生活者ネットワーク  
えぞえ 亮一

問 防災対策について、(1)地域防災リーダーの育成を。(2)区立中学校防災講習会の普及を。(3)災害時要援護者名簿の有効活用を。



中学校防災講習会

答 (1)専門性を持つ消防団が防災リーダーとしての役割を果たしていくことが望ましい。(2)全校に拡大していく。(3)防災マップづくりを通じて、状況を把握していくことが大切。



### 介護の充実、中3まで医療費 無料、公立保育を守れ

日本共産党  
小俣 のり子

問 (1)軽度介護認定者のサービスの充実を。(2)介護事業所への財政的支援を。(3)地域包括支援センター運営安定化の財政的支援を。

答 (1)健康施策にも参加できる事業がある。(2)行う考えはない。(3)45%の支援はしている。

問 (1)中学校3年生まで医療費完全無料化を。(2)保育園民営化は、区立を選んだ区民の権利を守るべき。(3)子育てハンドブックの作成を。



子育てハンドブック

答 (1)独自の考えで施策を展開し、成果も上がっている。(2)質の高い保育サービスが確保されれば、理解いただける。(3)検討する。

問 全国学力テストについて、特別カリキュラムなどの対策が行われたのか。学校の序列化につながる結果公表の仕方はやめるべき。

答 特別対策を実施していない。公表方法は国の公表結果を受けて検討していく。



### 通算7億円コミ館と区議の 因果関係、保育の問題

プロジェクト江戸川  
上田 令子

問 52号議案の江戸川コミ館賃借先は議会関係者か。民間であれば利益相反案件。区民の理解を得るために選定までの経緯を問う。

答 議会関係者の土地・建物である。しかし問題はないので、あえて公表する必要はない。

問 保育園選考指数につきなぜ保育ママ利用者だけに1点加算するのか。

答 担当課長が説明したことと同じである。

問 家庭・働き方も多様になっている中、区が推奨する家庭保育とは。



家庭保育

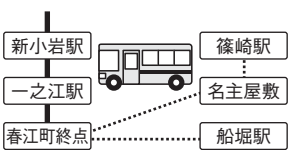
答 2歳児までは親が育てそれ以上は教育で。



### 都営バス路線の再整備 新中川の環境整備問題

自由民主党  
田島 てつたろう

問 春江地区を通るバス路線のうち、春江町終点から東新小岩4丁目までの新小29乙路線を歴史的に誇りうる一之江名主屋敷を経由する篠崎駅への延伸と増便を。また、船堀駅へのアクセスの新設を行ない、この地域唯一の公共交通手段であるバス路線の充実を。



バス路線の充実

答 バス路線は有用な交通手段であり、周辺区と比較しても相当拡充されている。区画整理や橋梁、都市計画道路の整備など、まちの状況の変化に合わせて、事業者と相談し、充実に向けて努力していく。

問 新中川環境整備計画の全体像を区民にPRすることで、新中川夢舞台のイメージを共有し、実現に向かって区民と一緒に取り組んでいく時期では。今後の整備計画は。また、健康の道を歩きやすい舗装材のアンツーカーを使うなど安全で楽しく歩けるような改修を。

答 基盤整備の早期完了を都に強く働きかけている。完了後は区で管理するが水辺を活用し、グレードの高い河川になるよう、全体構想をつくりたい。現時点では細かく手をつけるより、そのための気運を高めていきたい。

問 ドックランに対する現状認識と区内の設置状況は。新中川河川敷への設置の検討を。

答 ドックランへの理解が十分とはいえない状況である。都が、篠崎公園の一角での設置を検討している。これを起点により形で普

及すればよいと考えている。

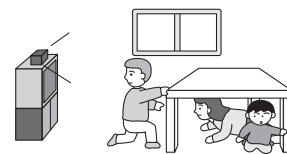


### 災害弱者に更なる支援を。 安心の街、松島を

公明党  
中道 たかし

問 震災対策について

- (1)災害時要援護者名簿の実効性ある活用を。
- (2)要援護者の高層住宅からの避難対策を。また、安心して避難できる場所の確保を。
- (3)事前に情報を得て心構えや身を守る準備をすることができる緊急地震速報の有効活用を。
- (4)防災教育として、備蓄食料の試食体験を。



緊急地震速報

- (1)防災マップづくりを通じて防災体制を強化している。これを全区で実施していく。
- (2)防災対策に終わりはないため、日常的に探求しながら出来る限り行っていく。
- (3)積極的に周知し有効活用できるようにする。
- (4)試食体験に限らず、総合的に臨場感ある防災訓練の実施など様々な検討をしていく。

問 松島地域は木造住宅密集地域として対策が進められている。良好な都市環境の形成に向け、各地区計画の策定や住民との合意形成など、現状と今後の取り組みは。

答 密集市街地整備事業や地区計画などをはじめたところであり、順次進めていく。



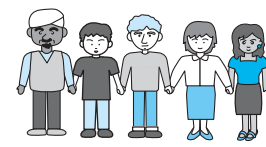
### 共に生きる地域社会へ 自殺対策、多文化共生を

民主党・生活者ネットワーク  
滝沢 泰子

問 地域の中で自殺を未然に防ぎ、自殺未遂者や悲しみにある遺族をケアする取り組みを。

答 自殺を無くすという強い意志で取り組む。

問 外国籍区民への情報提供をはじめとする行政サービスのあり方と多文化共生の推進を。



多文化共生

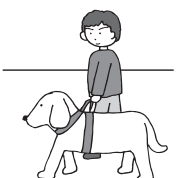
答 パンフレット等での情報提供を含め、地域コミュニティへの参加が進むよう努める。

### 「声の区議会だより」を

### ご利用ください

目の不自由な方に、本誌のテープ版を発行しています。

ご希望の方は、  
区議会事務局まで  
お申し込みください。



## 決算特別委員会

決算特別委員会は、9月27日から10月11日までの間、一般会計と3つの特別会計の各決算について、予算が計画的かつ効果的に執行されたか、歳入歳出の適正な執行について、慎重に審査を行いました。

一般会計の歳入の審査では、特別区税は、多くの善良な納税者に対して公平・公正な視点から、滞納者への毅然とした対応やクレジットカードによる納付の実施など、様々な検討をするよう要望が出されました。

歳出の審査では、来年4月に本格実施されるサーマルリサイクルへの取り組みのほか、災害時の要援護者対策などを含む防災対策や行財政改革、介護保険事業、子育て支援、福祉施策、健康施策、産業支援、都市基盤の整備、教育行政など、広範囲にわたり詳細に質疑が交わされました。

委員会での審査を踏まえ、10月23日の本会議で採決の結果、平成18年度各会計歳入歳出決算は、賛成38・反対5で認定されました。

### 決算特別委員会委員(◎委員長 ○副委員長)

◎すが 精二	竹内すすむ
○酒井 実	福本みつひろ
堀江そういち	藤澤 進一
関根まみ子	笹本ひさし
田中 寿一	川口としお
間宮 由美	春山なかじ
藤沢久美子	渡部 正明
新村井玖子	



決算特別委員会の様子

## 平成18年度決算に対する各会派の意見

### 自由民主党 (賛成)

区議会自由民主党は平成18年度決算審査にあたり、厳しい財政状況下において「無理なく・無駄なく」区民の期待に応え、理想と夢そして喜びを共有できる施策展開がなされてきたかを主眼に捉え、厳正かつ積極的に審査した。

本区では、毎年100を数える新規拡充事業を展開し、区民第一主義の確固たる信念のもと「公平性・公正性・公共性」という行政としての使命を全うし、平成18年度も「67万区民の笑顔」が区内全域で見ることが出来たと評価する。このことは、区民の満足感に結びつく大きな行政努力である。

18年度の主な成果は、「共育プラザの整備促進」「全小学校への防犯カメラ設置」「青少年の翼の規模拡大」「えどねっとの開設」「小松川ふれあいセンター開設」「社会福祉協議会による権利擁護・支援事業」「大規模15施設へのエコ改修」「農業産学プロジェクトの実現」「土地区画整理事業の精力的な推進」などを中心として、数多くの施策展開がなされた。その他にも地域の方々の理解と思いをもって運営されている「すくすくスクール」「安全・安心まちづくり運動」「チャレンジ・ドリーム」「総合人生大学」など、未来を担う青少年の健全育成から個人の素質才能の向上、地域活動への参加促進や地域貢献を大きな目標と定めた施策展開は枚挙に暇がない。

本区の理想である「共育・協働」に基づく多くの施策展開により、区民が自らも参加し

ての江戸川区づくりが着実に成果を挙げている。

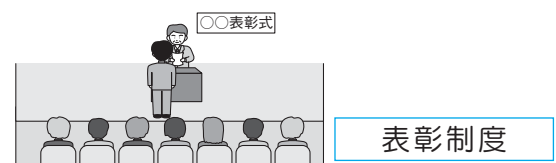
よって、区議会自由民主党は、平成18年度各会計歳入歳出の決算に対し、区民の信頼と期待に充分応えたものとして、認定に賛意を表す。

[主な要望]

○善良な納税者に対して公平・公正な視点から、滞納者には毅然とした対応を。また、納付方法については、クレジットカードによる納付など様々な工夫の検討を。

○接遇は、信頼関係の構築を念頭に置き、常に職員の意識向上・啓発に関する努力を。

○住民に誇りと活力をもたらす表彰制度をさらに意義深いものとし価値評価を高めること。



表彰制度

○防災・行政サービス向上など幅広い観点から新庁舎建設計画の具体的な推進を。

○公共施設内の自販機のあり方と収益を見直し福祉団体に公平に配分されるよう再点検を。

○指定管理者制度については、公平・公正そして新たな企画実現など積極的な運営を。

○産学公連携プロジェクトの拡充と斬新なアイデアを活用し、商業・農業・産業の振興を見据えた更なる取り組みを。

○タバコ・ゴミのポイ捨て、歩行喫煙など住民にマナー向上の働きかけを。また、本区独自のルールをつくり環境浄化の推進を。

○サーマルリサイクル導入にあたり、区民にその意義のさらなる周知を。また、行政と住民が環境問題に対し、危機感を共有するため、まずは徹底した資源ごみの分別回収に向けて、この啓発活動を地域と一体となって推進を。

○防災センターでは、避難場所の設定や備蓄・貯水など現実的な対応の再検討を。

○関係各団体と連携し、「正しい薬学」の知識と認識を高めていくこと。

○障がい者の保護者による「親亡き後の就労・人生設計」に充分配慮し、多くの事業協力者の理解を得ての、施策の検討・充実を。

○生活保護者に対しては、生活指導と就労指導を徹底し、自立促進に向けた指導を。

○江戸川区のまちづくりの将来像について、新駅の設置や基金の設立も合わせて検討を。

○JR小岩駅南北の再開発構想やスーパー堤防事業は、将来展望を地域に示し、住民との合議・合意を最優先して、事業の推進を。

○新川千本桜構想は、住民の声と意思を取り入れ、周辺住民が不安のない計画の推進を。

○下水道整備の再点検や歩道・駅前広場など環境に配慮したまちづくりの推進を。

○学力向上を目指し、図書教育の充実など様々な工夫・努力を。

○特色ある学校づくりを進め、指導力向上や生活習慣の改善、食育の推進など指導強化を。

○文化や音楽活動の練習の場として学校施設の利用・学校開放などの利用促進を。

○子どもたちの豊かな未来のため、学校・家庭・地域相互の信頼関係構築のための努力を。

最後に、多くの実績を踏まえ「守りから美りへ」という江戸川区政の変革期にあって、区長を先頭に「情熱と使命感」を持って、区民の恒久的な幸せに対して、一層前進していくことを切望する。

### 公明党 (賛成)

平成18年度の施策を見ると生活基盤整備の着実な推進、最優先の課題である次代を担う人づくりに向けた教育改革や青少年の翼事業の拡大、すくすくスクールの充実、多くの区民が参加しての防犯パトロールの実施など共育・協働の理念のもと、本区独自の様々な事業の取り組みが展開されている。

わが党は、平成18年度決算審査にあたり、厳しい財政状況の中、生活者優先の施策が実

施されているか、区民生活の価値を高めるための施策が効果を挙げているか、快適で災害に強いまちづくりを進め、そして安心・安全のもと、区民が住み続けられる施策が実施されているかなどの視点から、また、予算執行にあたっては、最小の経費で、最大の行政効果を挙げることができたか等の視点から審査した。その結果、本決算内容は妥当なものとの結論に至り、平成18年度江戸川区各会計歳入歳出決算を認定する。

[主な要望]

- 区民税について徴収率アップへの努力を。
- 文化芸術のチケット予約を利便性のうえからもインターネットや携帯電話での実施を。



- 区内在住の文化芸術に携わっているアーティストを紹介し、支援する仕組みづくりを。
- 鶴岡市との友好の輪をさらに深め、学童疎開の歴史を語り継ぐなど、前向きな交流を。
- 男女共同参画推進計画の全庁体制での推進と地域力を生かした理念の浸透に努力を。
- 職員の資質の向上、人材確保については、研修のあり方の検討や実施、少数精鋭で最大の効果を得るための一層の努力を。
- 悪質な消費者被害が多発している中、熟年者を見守る方たちへの親切な相談と啓発運動の更なる対策と充実を。
- 若者の就労対策は、適切で効果ある対応を。
- 中小零細企業への支援と併せて、地域の商店街へのきめ細やかな一層の支援策を。
- 特産品の金魚や小松菜の積極的なPRを。
- 犯罪防止のため、地域コミュニティをさらに深める支援と犯罪抑止力を高める施策を。
- 地球温暖化対策は、重要かつ緊急を要する課題であるので、区民・事業者・区が一体で取り組み、エコタウン化への推進を。
- サーマルリサイクルは、きめ細やかに周知徹底し、区民の理解と協力を得ながら、資源循環への取り組みを。また、清掃工場での焼却にあたっては、安全第一で事業の推進を。
- 妊婦無料健診を2回から5回に拡大を。
- 老後の安心のため、独居老人対策の充実を。
- 生きがいや健康な熟年者を目指した支援策、介護予防、認知症対策、介護施設の充実を。
- 育児支援ヘルパーの拡充を。
- 安心して仕事と家庭・子育ての両立が出来るよう、待機児解消に向けた更なる努力を。
- 京成本線の連続立体交差化事業、南小岩7,8丁目整備は住民合意のもと事業の推進を。
- シャトルバスの本格実施への取り組みとメトロセブン実現への力強い推進を。
- 家屋の耐震化計画の策定と推進を。
- 涼風橋の開通で交通量が増えている一之江3丁目交差点の南北側に信号機の設置を。
- 新川は、全長3kmの護岸工事、修景整備を早期完成し、千本桜の名所の実現を。
- ハロー先生の質の向上と全校平均化を。外

- 国語活動について、人材確保や環境整備を。
- 教員の資質向上や教員への支援の充実を。
- 不登校対策のメンター制度を広く周知し、気軽に利用できるよう拡充を。
- スクールカウンセラーの充実、拡充を。
- 魅力ある図書館を目指し、古い図書の入替えや中学校の学校図書館の充実を。
- 区・学校・家庭が一体となり食育の推進を。
- 日光林間学校の適切な利用形態の研究を。
- スポーツ施設整備について、青少年の育成と生涯スポーツの観点から更なる整備拡充を。

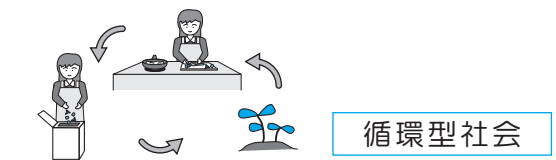
### 民主党・生活者ネットワーク(賛成)

18年度の区税収入は、前年度より増加したが、財源の多くを特別区交付金や国及び都の支出金に依存している状況においては、今後の三位一体改革や医療制度改革、社会保障制度改革、都区のあり方検討委員会の議論のゆくえを注視していく必要がある。

今後の財政運営には、さらに丁寧な事業の見直しを行ないつつ、一層の緊張感ある執行を期待し、平成18年度一般会計決算及び各特別会計決算ともに認定する。

[主な要望]

- 非常勤職員や臨時職員の処遇改善の検討を。
- 窓口サービスのワンストップサービス化を。
- 選挙の期日前投票は、駅に近い施設や駅舎での投票など投票率の向上への一層の努力を。
- 男女共同参画推進計画の実行に向けた専管組織づくりを。
- 外国人登録者数が増えていることから、多文化共生の環境としくみづくりを。
- 指定管理者制度は、事業報告書の評価の公開と倫理面を含んだガイドラインの策定を。
- タワーホールと文化センターのイベント情報の共有とチケットのネット販売の実施を。
- ブランド化している小松菜の地産地消の推進を。
- 安全・安心パトロールで江戸川河川敷を巡回し、不法投棄・不審者発見など監視強化を。
- 地域エネルギービジョンの実行にあたっては、具体的な対策と明確な数値目標の設定を。
- 人工透析者などの災害時要援護は、二次避難場所、医療施設との情報交換や連携強化を。
- 身近な地域での循環型社会の構築に向け、家庭からできる生ゴミのリサイクルを。



- 脱使い捨てのため、リユース事業の推進を。
- サーマルリサイクルの本格実施に向け、清掃工場の安全検証には、慎重な対応を。
- 障がいのある方の一般就労につながる作業所など、受け入れ態勢の充実を。
- 障がい児たちが、生活機能の向上や自立のための体験ができる施設の充実を。
- 東京臨海病院での小児二次救急の再開を。

- 小岩のまちづくりは安全安心な魅力あふれるまちづくりビジョンを共有した取り組みを。
- プレイパークに区の事業として位置づけを。
- 特別支援教育は、障がい児が副籍を希望しやすいよう介助員を。地域に向けた周知を。
- 学校図書館に専門司書配置の検討を。

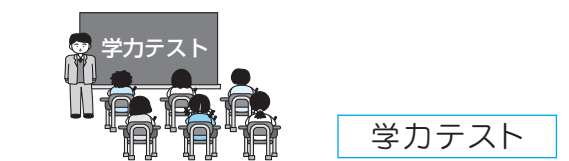
### 日本共産党(反対)

平成18年度は、軽度要介護者からのベッド取り上げに対し購入のための補助やマンションへの耐震診断助成の拡充などが示された。

しかし、区民の立場に立って、決算全体を見ると区政運営の基調には、基金の積み増しを行ない、18年度末で891億円という莫大な額をもちながら、区民の切実な要求に応えない姿勢を始め、どうしても認めることのできない施策の方向や行政の姿勢がある。よって、平成18年度各会計決算に明確に反対する。

[主な反対理由]

- 国民健康保険は、低所得者に影響の大きい保険料の均等割分の値上げは認められない。
- 後期高齢者医療制度は、高額な保険料が徴収され、高齢者への負担増は許されない。
- 介護保険は、認定基準の引き下げ、軽度者からの介護ベッドや車いすなどの取り上げ、介護報酬の引き下げが行なわれた。
- 子育てに関する区民の長年の要望に対し、背を向けていること。また、公的責任を後退させる保育園民営化を推し進める姿勢。
- 中学校3年生までの医療費無料化や公立保育園でのゼロ歳児保育は、23区でたどつ江戸川区のみ行なわれていない。
- 北小岩地区と篠崎地区のスーパー堤防事業をあくまでもすすめようとする姿勢。
- 住民合意のないスーパー堤防を推進することには明確に反対する。
- 子供たちが豊かな成長を育むために、必要な教育行政をすすめる姿勢を示さない。
- 少人数学級に道を開こうとしない姿勢は、時代の流れと区民の願いに逆行する。
- 全国学力テストについて、競争をあおる公表はしないという見解を持たないこと。

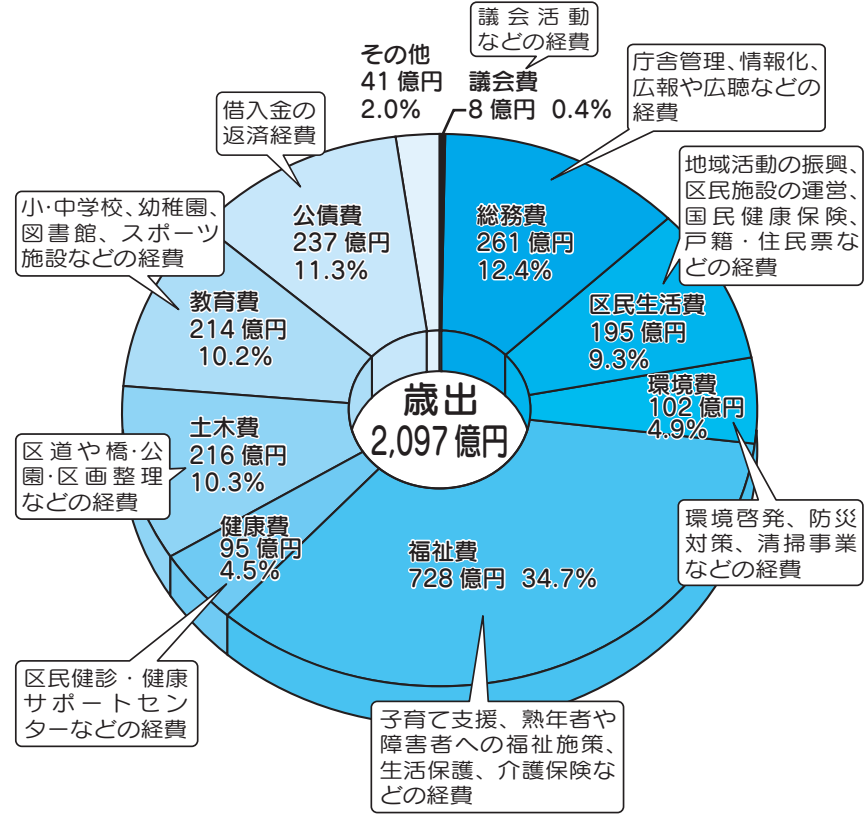
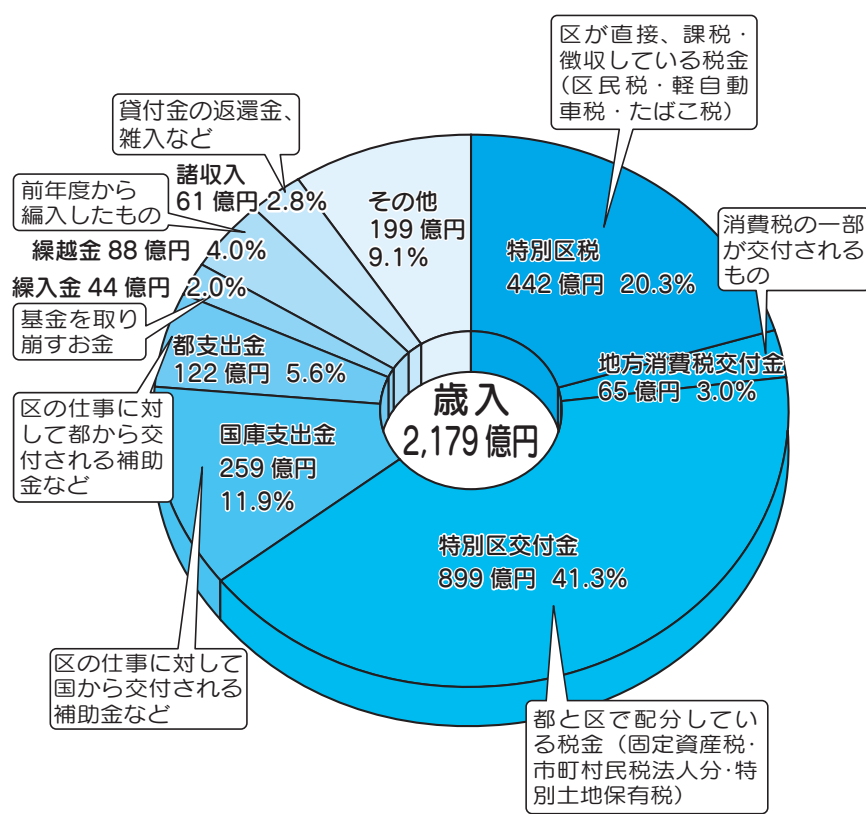


- 国や東京都の悪政から区民を守ろうとする姿勢が示されなかったこと。
- 区民生活を苦しめる消費税増税に反対しない姿勢は認められない。
- 江戸川区国民保護計画は、戦争意識を持たせ、戦時動員体制をつくることになる。
- サーマルリサイクルは、安全性に疑問が残るが、それを推進する姿勢には賛成できない。



# 平成18年度各会計歳入歳出決算のあらまし

## 一般会計



### 歳出の性質別内訳

性質	金額 (億円)	割合 (%)
扶助費	486	23.2%
人件費	399	19.0%
公債費	228	10.9%
物件費	227	10.8%
投資的経費	213	10.2%
繰出金	173	8.2%
補助費等	172	8.2%
積立金	160	7.6%
その他	39	1.9%

## 特別会計

歳入	650億円
歳出	637億円

歳入	332億円
歳出	329億円

歳入	227億円
歳出	215億円

### .....平成19年第4回定例会開催予定.....

- 11月29日(木) ..... 本会議(議案上程、委員会付託)
- 12月 3日(月)..... 本会議(一般質問)
- 4日(火)..... 本会議(一般質問)
- 5日(水)..... 常任委員会(議案審査)
- 6日(木)..... 各常任委員会(請願・陳情等の審査)
- 11日(火)..... 本会議(委員会報告及び表決)

※本会議は午後1時、各常任委員会は午前10時開会予定です。  
 ※傍聴の手続きは、本会議は開催当日の正午以降、各委員会は開会時間前に区議会事務局で先着順に受け付けています。  
 なお、定員がありますので詳しくは区議会事務局までお問い合わせください。Tel5662-5556

### あしがき

区議会だより第184号をお届けいたします。  
 今定例会からインターネットによる本会議のライブ中継を開始しました。19年第2回定例会からの映像も公開しております。  
 また、区議会や区政について理解を深めていただくためには、傍聴が最も身近な方法です。どなたでもお気軽にお越しください。  
 これからもより開かれた活力ある議会を目指してまいります。

- 区議会だより編集委員会(◎委員長 ○副委員長)
- ◎ 島村和成                      笹本ひさし
  - 北川ひろし                    須田哲二